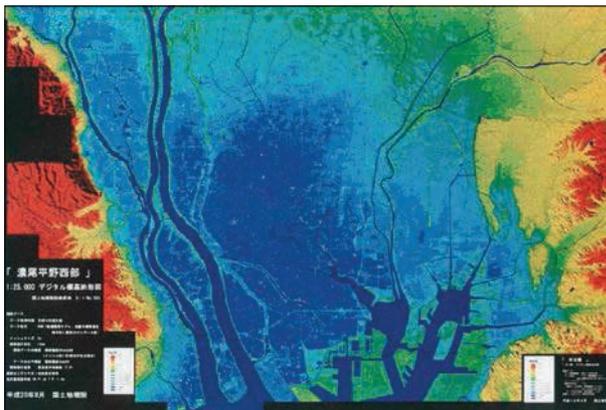


海面より低



濃尾平野のデジタル標高地形図



名古屋市のほとんどが標高ゼロメートル地帯

出典：国土地理院 名古屋と濃尾平野西部を合成

中区周辺のデジタル標高地形図



上部に見える黒く縁取られた名古屋城から
南に広がる名古屋台地

出典：国土地理院

■川崎浩司氏

名城大学特任教授、
熊本大学客員教授

専門分野

- ・ 海岸工学
- ・ 沿岸環境工学

現在の主な研究

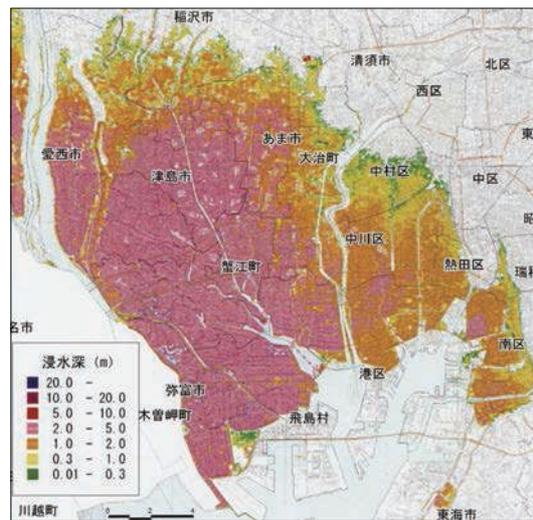
- ・ 沿岸防災とその対策技術
- ・ 半閉鎖性内海の海域環境



※この資料は、株式会社ハイドロソフト技術研究所執行役員兼開発センター長の川崎浩司氏の提供によるものです。
本誌28ページに「東海・東南海・南海地震について考える」防災講演を紹介しています。



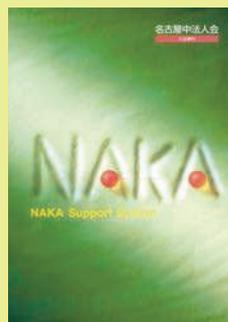
伊勢湾奥部での津波浸水予測の一例



赤く彩られた地域が1メートルから5メートル浸水

出典：南海トラフの巨大地震モデル検討会・第二次報告
(平成24年8月29日発表)

みんなで、法人会の知名度を上げ、友人を増やそう！



- ◎ 税のオピニオンリーダーとしての税制に関する提言活動。
- ◎ 税知識が身につく研修会や子どもたちへの租税教育活動。
- ◎ さまざまな業種の経営者と出会え、ビジネスチャンスにつながる交流会。
- ◎ 環境や福祉など、地域に密着した社会貢献活動。
- ◎ 経営の知識が身につく研修会、著名講師による講演会。
- ◎ 企業のリスクをカバーする法人会独自の福利厚生制度の普及。

これらのほかに、法人会は様々な活動で企業を支援し、国と地域の発展に努めています。ぜひ、みなさんの仲間を誘って、税の知識を活かし、一步先の経営を目指しましょう！

会員増強推進運動実施中！！

街道を行く



伊勢神トンネル



稲武は、名古屋から飯田街道を東に67km。天竜奥三河国定公園と愛知高原国定公園が東西に広がる自然に恵まれた山里で愛知・岐阜・長野の県境に位置する。

昭和15年（1940）に、稲橋村と武節村が合併して生まれた稲武町は、道の駅「どんぐりの里」、瑞龍寺「しだれ桜」、杉・ヒノキの美林と紅葉の「大井平公園」、ミズバショウ、明治維新で活躍した人々の墨書と稲武の歴史を伝える「古橋懐古館」があり、四季折々にドライブを楽しむことができる。

飯田街道は、徳川家康が開いた信州飯田までの130～140kmの道筋。街道の呼び名も現在では国道153号線と味気無いが、足助では三州街道、根羽の伊那街道、そして信州から米やタバコ、三河から塩を馬で運んだことから中馬街道とも呼ばれていた。

関所のわずらわしさがなかったことから、関所逃れの旅人が多く、街道の起点となる名古屋市中区の東新町の寺社には、道中病で倒れた旅人を弔う無縁仏が多い。

飯田街道・稲武



山里の稲武



古橋懐古館

春
カラー探訪



深い樹林



瑞龍寺のしだれ桜



ミズバショウ





植林は百年の計。

千年の計は人材にあり。

一般財団法人古橋会 常務理事 古橋正光氏



地方創生の原点は「稲武」にあり

——昨年の秋、安倍首相が臨時国会の所信表明演説で、明治の篤農家「古橋源六郎暉兒翁」に触れ、地方創生の重要性を唱えました。本日は、地域社会貢献のお手本を学びに来ました。

稲武は愛知県といいますが長野・岐阜の県境の山間にあり、名古屋から随分遠くて大変でしたでしょう。

——春のような天気に恵まれ快適なドライブでした。それに手前の道の駅「どんぐりの里 いなぶ」で雛人形を観たり、山菜のふきのとうが販売されていたので、楽しかったです。

ご案内する前に、豊田市が昨年作成したアニメを観ていただきます。「古橋源六郎暉兒物語～伊勢神峠の夕日に誓う～」は、六代目暉兒の少年時代から晩年までの足跡が描かれ、豊田市のホームページでもご覧いただけます。

天保の大飢饉に私財を投げ出し村人に米・麦を分け与え、村からは一人の死者も出さなかったそうです。自然災害は必ず起きると人々に備荒貯蓄の大切さを呼びかけ、植林・養蚕・茶の栽培など、この土地にあった新たな産業を興しました。

晩年の暉兒は、「植林は百年の計。千年の計は人材にあり」と明月清風校という小学校を設立しました。町づくりで最も重要となるのは、故郷を思う優秀な人材の育成に尽きると考えていたと思います。暉兒自身も国学を学ぶため平田篤胤の後継者である平田鏡胤の門下生となっています。平田学は幕末の尊王攘夷に大きな影響があり、多くの人々



取材日時／平成27年3月4日(水) 13:00～
取材場所／豊田市稲武町 古橋懐古館
ききて／森田文二・堀江陽平・加藤育美・清水正彌

に学ぶことの楽しさを与えました。特に木曾谷・伊那谷の平田学派の存在は有名で、後の島崎藤村が小説「夜明け前」で詳細を述べています。中津川から移住した古橋家も少なからず縁があったと思います。

——古橋懐古館の建物の特色と所蔵品についてお願いします。

代々酒造業を営んでいましたが、終戦直前の昭和18年に酒米の入手が困難になって酒造免許を返納しました。

戦後、稲武町長であった八代目道紀が死亡し、その遺言により、家訓である公益事業を推進するため、全財産を寄付して、財団法人古橋会が昭和21年に設立されました。初代理事長には、八代の実弟の川村貞四郎（元山形県知事）が就任しました。稲武全域で医者が2人しかおらず、大きな手術ができないことから、川村貞四郎と交友のあった名古屋大学の勝沼清蔵学長と相談して、酒蔵を病院に改造しました。名大から3人の医師が派遣され、1階は待合室と手術室、薬局、2階は病室となっていましたが、天井の梁などに酒蔵の面影もあり独特の雰囲気があります。それに離れに結核病棟も建てましたが、昭和40年代に入ると名大の医師不足に伴いやむなく閉鎖となりました。

昭和33年に古橋懐古館として開館して、古橋家三代にわたって収集された書画と古橋家の衣食住に関する民具の展示をしています。

書は人格を現す

——著名な人物の墨書が多く、なかでもNHK大河ドラマ「花燃ゆ」の吉田松陰の書に出会えるのは楽しみです。

佐久間象山の薫陶を得た吉田松陰が野山獄で書いた手紙は、一度使われた手紙をハガキより小さいサイズに切って裏に書かれたものです。文面は書物の差し入れ依頼や、同時に家族の安否を気遣う内容に松陰の人を思う人柄が感じられます。

谷文晁の富士山もそうですが、勝海舟・坂本龍馬・西郷隆盛など幕末から明治にかけて様々な人物の書画もご覧いただけます。



100年の米 日露戦争備蓄米

——懐古館でのエピソードをお聞かせください。

以前、古橋懐古館の書画の存在を知って、長崎から末裔の方が遙々来訪されました。対面されたご家族のお姿を拝見して感慨深く感じたこともございます。

大河ドラマ「花燃ゆ」の主人公杉文の夫「久坂玄瑞」が、お妻さんに宛てた手紙が残っていますが、縁者の方が今もご存命です。ドラマでは触れないことになったようです。最後の十五代将軍徳川慶喜公の書は、文字の間隔がゆったりとしていて、重責から解放された心境がよくわかります。和紙の白さと墨の美しいコントラストに興味の写真を楽しまれたハイカラな人柄が忍ばれます。

文面の歴史的価値、筆跡の芸術性も大事ですが、その人の心と対峙できる魅力があります。

六代目暉兒翁の「備荒貯蓄の心得」

先ほどの備荒貯蓄を知る展示に、暉兒の志を引きつぎ七代義真が日清戦争と日露戦争に際した「備蓄米・あらめ（塩）・乾燥した山牛蒡の葉」があります。この備蓄米は、石油缶に密封され「百年米」と呼ばれていましたが、百数年後



実際に食べられたことがあります。2005年愛知万博を記念して豊田市からブレ・イベントの出し物として要望されたことが話題になり中日新聞の記事に載ったことも重なって、備蓄米の入った数缶の石油缶をトヨタスタジアムに運び、学者の先生にアドバイスをいただいて、多くの皆さんに日露戦争の時代のお米を召し上がっていただきました。

——究極の古々米ですね。近代日本の黎明期のお味はいかがだったか興味深いエピソードです。

日本の戦後の復興と経済成長は、欧米のみならず世界中から奇跡と称賛されました。それと同時に、東京一極集中が加速化し、地方の低迷に歯止めがかかりません。私たちが暉兎翁に学ぶところを教えてください。

暉兎は天保の飢饉で、こんな寂しい山間地にどうして生まれたのか、相当に悩んでいたようです。たまたま明治の初めに陸軍大演習が名古屋であって、それに招待され見学に行った途中、名古屋の賑わいに触れ、「この稲橋村はどうしてこんなに寂れた寂しい村なんだ。神様は不公平だ」と嘆きました。しかしあるとき「山には山の生き方がある。それならば、土地に合った産業を興せばいい」と考えました。

植林と養蚕、お茶の栽培、馬も三河産馬等の産業を興し村は発展しましたが、安倍総理は植林と養蚕とお茶の栽培の3つを所信表明演説で取り挙げられ、地方創生の好例とされておりました。

——若い頃に、植林・養蚕・お茶の情報はどこから得たのでしょうか。

植林は中津川出身ということと、天保の大飢饉のあと村を長期的に豊かにするためには植林が必要だと気づきました。さらに明治政府の殖産興業政策の影響が大きかったと推察します。

暉兎は一貫して備荒貯蓄の奨励をしたと思います。七八代目もその志を受け継ぎ、村が生き延びるために村々の民と質素儉約を約束させています。ですから名倉川からこ

ちらの稲橋村では昭和40・50年代まで御雛様と鯉幟の風習はございませんでした。しかし4年前から地域振興のために、道の駅などで御雛様を飾るようになりました。古橋会の古橋懐古館でも協賛して展示しています。

明治4年に廃藩置県に伴いお殿様は東京に行き、領地は天領で、他の藩と違って木があまり切られず大木が残りました。天領であったことで、明治政府のものとなりましたが、暉兎の努力により共有林として払い下げられました。山全体は村のものとして共同運営にしましたので、結果的に村の産業は全て公益事業である植林事業を始めたのだと思います。

暉兎の杉・ヒノキの植林は、大井平公園になっていますのでご覧ください。

また明治に入りますと貿易が盛んになります。日本が輸出するものといえば生糸だけです。愛知県からも薦めがあって地域振興に結び付きました。

——墨書が多い理由を教えてください。

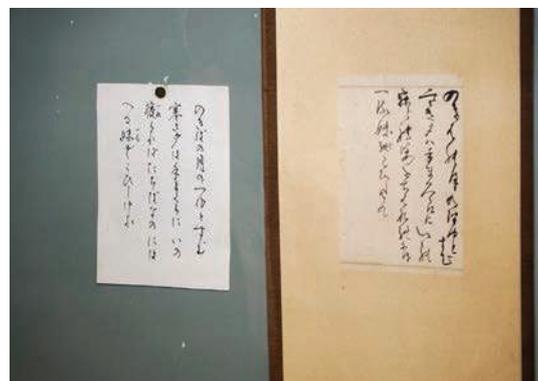
暉兎が江戸で国学を勉強していたときに集めたものを中心にしています。また親交のあった人からいただいたのが墨書であったためです。吉田松陰や松下村塾の塾生の品川弥二郎などです。

——首相の所信表明演説と「花燃ゆ」で来観者は多くなりましたか。

それまで懐古館は、書画以外にあまり注目されていませんでしたが、演説後は、町おこしで苦心されている方々が全国から来訪され、昨年は行政の人なども含め3倍以上になりました。それに「花燃ゆ」で女性の来観者も多くなっています。

——稲武は、やはり交通事情がネックになりますね。

これから飯田市のリニア駅周辺整備が大きな課題になると思います。また名古屋、豊田から車で飯田街道を来られると、伊勢神トンネルの道幅の狭さが問題です。用地買収と起工式も終えたのに業者の指名がまだ未定で、着工の遅



貞心尼



勝
海舟



れを心配しています。

故郷で活躍する若者の育成

——懐古館として大切にしているところを聞かせてください。

古橋会は先祖の家訓を引き継いだ財団です。理事長は「公益のため、人のため、平和のために尽くした古橋家の家訓を忘れないように、懐古館を単なる博物館ではなく、国のために尽くした人の志を感じる文化施設として役立てたい」と述べています。

特に力を入れているのは奨学金です。地域のために勉強して欲しいといま中学・高校や大学へ行く若い人に償還義務のない奨学金を与えています。中学生には条件として、「私の将来の夢」という作文を書いています。高校3年生には、「郷土、稲武の活性化」のための意見を提案してもらっています。

稲武地域の人口の減少率が高まっていますので、我々が夢と生き甲斐のある雇用の場を提供しなければなりません。暉兒は、明治の始めに養蚕を勧めたことにより、この地で養蚕が盛んとなり、伊勢神宮へ神御衣御料糸献納を明治15年より始め、今年で135年目を迎えます。

また、平成2年の今上天皇の大嘗祭には、^{にきたえ}繪服を献上しております。平成に入り養蚕家はほとんどなくなりましたが、この伝統技芸を「まゆっこクラブ」が引きつぎ、これらの事業も続けられております。

「まゆっこクラブ」は趣味の会の活動でありますので、これを養蚕業として、休耕田などを活用し、定年退職者たちの雇用の場の提供にならないかを2年後を目指して検討しています。

それは、蚕によるバイオリンや三味線、二胡の弦の研究などであります。

それでも村の産業の7～8割は林業です。エコ時代に適合し効率的な森林経営のために非皆伐複層林施業を推進、実施していきます。

また、大規模製材所を中心としたネットワークの形成であり、「木の駅プロジェクト」の導入も図っていきたくと考えております。

——現在常務理事としてのお仕事を教えてください。

東京に理事長がいます。館長はそのお姉さんがされていたのですが1年前に亡くなられ、引き継いだのが民俗学、歴史学を専門としている西海賢二先生が昨年4月から館長に就任しました。こちらには1ヶ月に3泊4日ほど来館し、ご指示・ご指導いただいています。日ごろは受付・案内を3名の女性が受け持っています。

私は財団全体の事務管理に携わっていますが、幕末・明治の偉人たちの書画が大好きですので、ご案内・ご説明を出来る限りさせていただいています。

——書画と人物の解説に感銘しました。ありがとうございました。懐古館の教えを法人会の活動に役立てたいと感じています。

栄ミナミ音楽祭'15

平成27年5月9日(土)・10日(日) 11:00開演
矢場公園他、栄ミナミ地区一帯及び大須・久屋



第4回通常総会・記念講演会

平成27年5月26日(火)

通常総会／14:00～16:00

第9回理事会／15:45～15:55

記念講演会／16:00～17:30

情報交換会／17:45～19:20

会場／名古屋東急ホテル

《通常総会・記念講演会》ヴェルサイユの間

《情報交換会》ルネサンスの間

演題／尾張藩主 徳川宗春のどえりゃあ派手な経済運営
～吉宗の中央改革と宗春の地域活性化～



歴史経済作家 渋井 真帆さん

江戸時代中期、元禄バブルの夢が醒め、幕府や諸藩は深刻な財政危機に直面した。そこに登場したのが八代将軍吉宗と尾張藩主宗春。対照的な二人の経済運営の結果はいかに。第4回城山三郎経済小説大賞を受賞した新鋭の歴史経済作家が新たな視点を加えて解説する。

広報誌秋号“シリーズこの人”

名フィル次期音楽監督 小泉 和裕氏

名古屋フィルハーモニー交響楽団は、空席だった音楽監督に、指揮者で九州交響楽団音楽監督を務める小泉和裕氏(65歳)が就任すると発表。任期は平成28年(2016)4月から3年で、名フィルが音楽監督を置くのは小林研一郎氏(1993～2003年)以来。

小泉和裕氏は名フィルの客員常任指揮者を平成5年(1993)から3年務め、定期演奏会に15回登場。京都生まれの小泉和裕氏は、東京芸術大学音楽科で山田一雄氏に師事。昭和45年(1970)に第2回民音指揮者コンクール第1位。昭和48年(1973)にカラヤン国際指揮者コンクールにて第1位を受賞。その後、ベルリンフィルハーモニー管弦楽団を指揮してベルリンデビューを飾る。以来、欧米の著名な交響楽団を指揮。ラヴィニア音楽祭のシカゴ交響楽団の指揮は大成功を博す。交響曲のように構成力の強い曲に定評があり、また協奏曲の伴奏も高い評価。

(Wikipedia・朝日新聞デジタルより一部抜粋)

未来へ、ハーモニー

名フィル創立50周年

名古屋フィルハーモニー交響楽団は、昭和41年(1966)7月10日に愛知県初のプロオーケストラとして発足。

昭和41年(1966)10月、東海高等学校にて第1回演奏会

昭和46年(1971)岩城宏之氏が初代音楽総監督に就任

昭和48年(1973)財団法人化

昭和63年(1988)初の海外公演(ヨーロッパツアー 広上淳一指揮)

平成28年(2016)7月10日、創立50周年を迎える

50th
Anniversary



第427回定期演奏会

平成27年9月4日(金)・5日(土)

指揮 小泉 和裕氏

ピアノ アルトゥール・ピサロ*

ベートーヴェン：『レオノーレ』序曲第3番 作品72b

ドホナーニ：童謡(きらきら星)の主題による変奏曲 作品25*

ベートーヴェン：交響曲第3番変ホ長調 作品55『英雄』

納税意識高揚事業

名古屋市営地下鉄駅舎に確定申告啓発ポスター掲示
期間／平成27年1月31日(土)～3月16日(月)

場所／国際センター駅、栄駅中央改札コンコース、栄駅東改札
コンコース、栄駅西改札コンコース、市役所駅南改札
口、市役所駅北改札口、上前津駅、鶴舞駅、伏見駅



栄駅中央改札コンコース



確定申告啓発ポスター

第3回名古屋市内 9法人会青年部会交流事業

事業活動の活性化と人材育成を図る

日時／平成27年2月4日(水) 18:30～21:30

会場／名古屋国際ホテル

内容／グループプレゼンテーション



女性部会地域社会貢献事業 社会福祉法人中部善意銀行へ寄付

日時／平成27年3月18日(水)

会場／社会福祉法人中部善意銀行

目録／1万円、使用済切手2kg



平成25年度税に関する 絵はがきコンクール

法人会では、租税活動の一貫として女性部会が主体となり、全国の小学生を対象にした「税に関する絵はがきコンクール」を実施しています。

名古屋国税局では、岐阜〔飛騨〕高山市立くわ野小学校6年生の岩佐美咲さんが全法連女連協会長賞を受賞しました。



全法連女連協会長賞に輝いた絵はがきの一部。
岩佐美咲さんの作品 右下

第1回 税に関する 大募集! 絵はがきコンクール

税は毎日の生活の中で
どのように使われているのか
というところを小学生のおみなさんに知っていただき、
理解と関心を深めていただくため実施いたします。

- 1 テーマ**
税に関する税(税金で送られている建物・贈答、税金が
使われているもの、税金で行われている仕事など)であら
ば何でも構いません。
- 2 応募資格**
名古屋市中部の小小学6年生が対象です。
- 3 応募点数**
決裁1人につき1点とします。
- 4 応募方法及び応募先**
チラシ付属の「専用はがき」に各名簿の必要事項および応募
する絵はがきを各自で貼付してください。
募集期間は3月18日まで。文字や絵柄などの書き入れも構いません。
応募先：お問い合わせ先
〒460-0008 名古屋市中区東4-3-26 昭和ビル3F
公益財団法人 名古屋中法人会 事務局
電話052-242-0427
URL: <http://www.dmeika-hokai.or.jp>
- 5 応募締切**
平成27年3月30日(木)
- 6 審査**
応募作品の中から、当協会員が選定
かつ公平に審査し、選定いたします。
- 7 表彰・発表**
審査結果(入賞作品)は当協会ホームページまたは広報誌にて発表
するとともに当協会事務局が少学校を通じて本人に通知します。
なお、入賞作品につきましては「暮らしの税」の紙版誌で発表
するとともに公益財団法人 全国法人会連合会(女性部会)が調
査するコンクールにも参加します。
●名古屋市税務局賞 1点
●名古屋中法人会賞 1点
●公益財団法人 名古屋中法人会賞 1点
●佳作 5名
●奨励賞 20名
- 8 注意事項**
①応募作品に関する権利は、応募と同時に主催者に帰属します。
②応募作品は盗用してはなりません。手帳をごまかさない。
③当協会ホームページに応募作品の募集、また抽籤が行
う等に関する情報が掲載することがあります。
④応募者の個人情報(入賞者への連絡や発表などのため)のみ
が公開されます。
(主催) 公益財団法人 名古屋中法人会
公益財団法人 全国法人会連合会
(後援) 国税庁
法人会
郵政でオンラインサービスとして公平で健全な競争の環境の中での募集・
抽籤等活動を実施することを目指す100周年の節目です。また、全国の
法人会を支援する活動が当コンクールに女性部会に集約して実施する
動きが各地域のおおきくなっています。
●税に関する知識の向上、本協会の活動
を推進するの一端に貢献いたします。

第1回 税に関する絵はがきコンクール 募集案内